

## 第20回「翠明湖の桜を救え」 糶屋ダム周辺整備活動報告

日 時	令和7年11月16日（日）午前9時～12時
場 所	翠明湖（糶屋ダム） 多可郡多可町中区糶屋
参加者 総勢 73名	中ライオンズクラブ 11名・なかやちよの森公園 10名・糶屋集落 5名 糶屋ダム 4名 加古川西部土地改良区 27名（県庁、加古川流域、県土連、関係市町）、NPO 田園 21 16名
活動主旨	<p>昭和61年に植樹された桜450本は、翠明湖（糶屋ダム）の景観を維持し、4月には美しい桜並木に多くの見物者が訪れます。</p> <p>この桜の手入れは、中ライオンズクラブさん・なかやちよの森公園さんや多くのボランティアの皆さんが中心となって過去19回開催されています。今年で20回目となるこの活動には、糶屋集落から5名の方々、また、昨年に引き続き、下流域から27名と「NPO美しい田園21」の16人が参加し、翠明湖（糶屋ダム）の周辺整備を実施しました。</p> <p>参加した総勢73名を草刈班3グループ（A～C）、伐採搬出班3グループ（①～③）に班分けし、翠明湖の右岸（なかやちよの森公園付近から翠大橋まで）の約2.5kmの区間、桜木の下での除草作業、成長し道まではみ出した枝木の剪定作業、伐採した雑木の搬出作業を実施しました。</p> <p>また、今年は土地改良区の3名の女性理事が翠明湖（糶屋ダム）からの美しい水を受け作られた「加西市の白米」を使ってポン菓子作りに挑戦し、参加者へ振舞いました。</p> <p>多可町中ライオンズクラブ 徳平会長から、「昨年に続き多数参加いただき、今年も翠明湖周辺が美しくなった。引き続き皆さんの共に守っていきたい。」と話され、今後も『水源地への感謝』の気持ちをもってこの活動を継続させられるよう、関係団体と連携して支援させていただくこととしています。</p>

### 活動写真 開会の様子



秋晴れの開会式（なかやちよの森公園）



中ライオンズクラブ 徳平会長の開会



利水者代表加古川西部 三宅理事長の挨拶



なかやちよの森公園 藤浦局長より作業説明

活動写真

桜の周辺の雑木や雑草の下刈り（急斜面での作業）



活動写真

道路に伸びた枝木を剪定してダンプで搬出



活動写真

加古川西部土地改良区の3名の女性理事によるポン菓子制作



活動写真

閉会の様子（糞屋ダム管理所 國田所長あいさつ）

